



H18. 2. 3 1178
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 農林水産業懇談会開催 新「農林水産業新世紀ビジョン」について意見交換

本県農林水産業の基本方針と将来像を掲げる新「農林水産業新世紀ビジョン」について、県による取りまとめが最終段階を迎え、このほど、新ビジョンに関係者や第三者の意見を盛り込むことを目的として、農林水産業懇談会が開催されました。

新ビジョンは2010年度までの5ヵ年で、基本構想、基本計画のほか、県内8地域ごとに改革案を示した地域計画で構成され、生産額などの数値目標を掲げ、産地の構造改革や流通業者、消費者との連携、担い手育成が中心となる見通しです。

懇談会には、県農業水産部北村部長、県環境森林部府川部長らと、農林水産業各分野の関係団体幹部、消費者、流通業者、マスコミ関係者などの有職者合わせて12人が参加しました。

2. 第7回石油部会開催される

- JF全漁連情報 -

JF全漁連では1月23日、第7回石油部会を開催し、最近の石油情勢を報告するとともに、製品供給価格の改定(値上げ)について協議しました。

原油市況については、WTIにおいて12月下旬60ドル/バーレル前後だったが、1月に入りロシアがウクライナ向け天然ガス供給を停止したことや、イランでの核燃料研究再開問題、ナイジェリアにおけるパイプライン襲撃等による供給不安から1月中旬現在、66ドル/バーレル前後に上昇しています。

石油製品市況についてはシンガポールガスオイル市況において、寒波の到来により12月下旬65ドル/バーレル前後に上昇し、1月に入っても原油価格の上昇が続いています。また、韓国等の製品輸出余力が減少していること等を受け、1月中旬現在70ドル/バーレル前後となっています。

一方、国内石油情勢は一部油種での燃料転換が進展したことや、11月中旬まで温暖な気候が続いたことにより製品需要が減少していたため、元売り各社とも減産を実施して需給調整を行ないました。

しかし、11月下旬以降、寒波の到来や荒天によって製品の転送に支障をきたしたことから、元売り各社は需給繰りに苦慮し、今後も厳しい寒波が続けば在庫はさらに減少し、これまで以上に需給が逼迫することが予想されます。

そういった状況の中、国内石油元売り各社は12月(1月1日実施)の値上げ(KL当たり1,000~1,300円)に続き、1月(2月1日実施)にもKL当たり1,800~2,000円程度の値上げを実施することが予想されています。

このような中、JF全漁連は国内石油元売り各社からの強い値上げ要請を受けていること、海外石油製品市況の上昇によって輸入A重油がコストアップしていること、コストアップ分の吸収が困難な状況であることを説明し、供給価格改定(値上げ)の実施を決定しました。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

3. 農水産物の輸出額12%増 カツオが564%の増加

農水省が発表した平成17年の農林水産物の輸出実績によるとアジア向けが好調で輸出額(たばこ、アルコール飲料、真珠を除く)は6年連続で増加し、前年比12.1%増の3,111億円となりました。ここ数年の平均伸び率は6%程度でしたが、二桁を超える伸び率は1997年以来8年ぶりとなりました。

輸出額の4割を占める水産物が好調で、19.9%増の1,448億円、農産物は6.8%増の1,712億円、林産物は3.7%増の92億円でした。

水産物の主な品目は、カツオが豊漁により、タイ向け輸出(缶詰用)が増加したことから、輸出額7,581百万円(前年からの伸び率:564.3%)、サケ・マスが中国向け(加工用)の引き合いが強いことから、輸出額14,713百万円(同:62.5%)、ホタテが世界的な不漁の中、特に米国が買い付けを増やしたことなどから、輸出額10,924百万円(同:75.1%)となりました。

政府は「攻めの農政」の一環として5年前から輸出額を倍増させる計画を推進しており、農水省は「官民一体で輸出拡大する機運が醸成され、輸出ビジネスが育ってきた。海外での日本食ブームや高品質も背景にある」と分析しています。

4. 「わかしお」石けん 普及キャンペーンのお知らせ

本会では、環境にやさしい天然石けんの普及を図り、漁場環境の保全を期する事を目的として、今年もJFブランド商品「わかしお」の販売キャンペーンを次のとおり実施します。キャンペーン期間中に限り、通常販売価格より安価で、1ケース単位より受け付けますので、この機会に是非ご利用ください。

取扱期間:平成18年2月1日~3月29日

取扱商品:「わかしお」石けん類 発注単位:1ケース(期間限定)

問合せ先:県漁連購買部資材課 TEL:054-252-5154

5. 本会人事異動 2月1日付で発令

本会では2月1日付けで、人事異動を発令しましたのでお知らせします。(カッコ内は旧役職)

沼津事業所次長 松永 修(漁政課長) 漁政課長 鈴木 博(漁政課長代理) 漁政課漁政担当主任 安本登志勝(沼津港湾事務所販売担当主任) 焼津事業所 大石衛(本部販売部付) 同 望月淳矢(沼津港湾事務所)

退職:田村庄一(沼津事業所購買主任)(1月31日付)

6. 諸会議・日程(2月7日(火)~2月20日(月))

- 既報分省略 -

2月10日(金) 県棒受網鯖釣漁業組合 = 通常総会 (ブケ東海静岡)

2月17日(金) 県機船底曳網組合 = 通常総会 (熱海市)

2月17日(金) 県漁青連 = 役員会・監査会・通常総会・研修会 (県水産会館)

2月20日(月) 県養鰻協会 = 理事会 (県水産会館)

- 訂正 - 本紙1177(1/27)掲載の平成17年度安全指導講習会開催のお知らせの中で(県遊漁船業協会)、土肥総合会館での開催時間は、14時からの誤りですので、お詫びして訂正します。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう